



みなみいず 町議会だより

No. 67号

2016年
平成28. 11. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaj@town.minamiizu.shizuoka.jp



南伊豆中学校



南伊豆東中学校



南上小学校



南中小学校



南伊豆東小学校

町内各学校で運動会が開催されました。

9月定例会を9月7日～9月26日まで20日の会期で開催しました。

- 主な内容
- 一般会計・特別会計補正予算可決 ……………2
 - 平成28年9月議会定例会審議結果 ……………3
 - 一般会計・特別会計・水道事業会計決算概要……………4
 - 審議中にあった質疑又は意見要望事項 ……………5～9
 - 一般質問 ……………10～15
 - 未来を担う子ども達、みなみいず元気びと、議会一口メモ、くろ潮……………16

平成28年度 9月定例会

一般会計・特別会計 補正予算可決

- ・国民健康保険
- ・介護保険
- ・後期高齢者医療
- ・公共下水道事業
- ・水道事業

総額 399,969千円！

(水道事業会計を除く)

■ 一般会計 ……………359,133千円

主な内容	○総務費……………	286,957千円
	○民生費……………	13,820千円
	○衛生費……………	2,152千円
	○農林水産費……………	260千円
	○商工費……………	16,518千円
	○土木費……………	34,071千円
	○消防費……………	11,889千円
	○教育費……………	▲3,703千円

■ 特別会計 ……………40,836千円

主な内容	○国民健康保険……………	23,200千円
	○介護保険……………	2,481千円
	○後期高齢者医療……………	4,567千円
	○公共下水道事業……………	10,520千円

■ 水道事業会計

主な内容	○収益的収支……………	▲3,975千円
	○資本的収支……………	▲26,839千円

平成28年 9 月議会定例会審議結果

No.	議案番号	件目	議決年月日	審議結果	岡部克仁	渡邊哲	比野下文男	加畑毅	長田美喜彦	清水清一	漆田修	齋藤要	渡邊嘉郎	横嶋隆二
1	報第12号	平成27年度南伊豆町健全化判断比率について	9月8日	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	報第13号	平成27年度南伊豆町資金不足比率について	9月8日	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議第84号	南伊豆町固定資産評価審査委員会委員の選任について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第85号	南伊豆町教育委員会委員の任命について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第86号	南伊豆町教育委員会委員の任命について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第87号	南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第88号	南伊豆町防災会議条例の一部を改正する条例制定について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第89号	南伊豆町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定について	9月26日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第90号	南伊豆町企業立地促進条例制定について	9月26日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第91号	平成27年度南伊豆町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第92号	平成28年度南伊豆町一般会計補正予算（第2号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第93号	平成28年度南伊豆町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第94号	平成28年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第1号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議第95号	平成28年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議第96号	平成28年度南伊豆町三坂財産区特別会計補正予算（第1号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	議第97号	平成28年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	議第98号	平成28年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第2号）	9月8日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	議第99号	平成27年度南伊豆町一般会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
19	議第100号	平成27年度南伊豆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	議第101号	平成27年度南伊豆町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
21	議第102号	平成27年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
22	議第103号	平成27年度南伊豆町南上財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	議第104号	平成27年度南伊豆町南崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	議第105号	平成27年度南伊豆町三坂財産区特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	議第106号	平成27年度南伊豆町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	議第107号	平成27年度南伊豆町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	議第108号	平成27年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	議第109号	平成27年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	議第110号	平成27年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	議第111号	平成27年度南伊豆町水道事業会計決算認定について	9月26日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 稲葉勝男は採決に加わっておりません。

平成27年度

一般会計・特別会計・水道事業会計 決算認定される！

一般会計・特別会計・水道事業会計決算概要

(単位：千円)

会計区分		歳入	歳出
一	一般会計	5,585,797	5,018,956
特別会計	国民健康保険	1,869,568	1,726,588
	介護保険	1,069,129	1,066,524
	後期高齢者医療	104,416	102,734
	南上財産区	360	235
	南崎財産区	441	350
	三坂財産区	22,799	7,662
	土地取得	600	600
	公共下水道事業	428,838	410,838
	子浦漁業集落排水事業	23,827	23,827
	中木漁業集落排水事業	8,062	8,062
妻良漁業集落排水事業	18,322	18,322	
水道事業	収益的収支	313,220	286,213
	資本的収支	106,126	295,014

審議中にあった質疑又は意見要望事項

○ 予算決算

常任委員会

一般会計

- 第1款・議会費
- 第2款・総務費
- 第8款・消防費
- 第11款・公債費
- 第12款・予備費及び関連歳入について

問 実質収支比率についての質問がなされた。

答 3%から5%が適正な予算執行の数字です。

問 予算についての質問がなされた。

答 執行率の問題もありませんが、投資的経費において不用額が増える事は計算上難しいです。

問 総務管理費不用額につ

問 会計学的に無理かと質問がなされた。

答 なかなか読み取れないので繰越明許とせずには額としました。今後の検討課題です。

問 土地売却収入についての質問がなされた。

答 湊、清掃センター下の水路部を用途廃止して業者に売却しました。

問 軽自動車税不納欠損についての質問がなされた。

答 債権能力が無い場合や、本人が行方不明の場合は欠損にしています。

問 議員共済負担金につ

問 三浜小学校の今後についての質問がなされた。

答 増えている要因は分かりませんが、調査してみます。

問 今のところ有効な手段はありませんが、ふるさと学級等で考えていきます。

問 委託料についての質問がなされた。

答 交流定住は婚カツ事業です。南伊豆サークルでNPO伊豆未来塾、商工会に支払いました。地方創生は生涯活躍の町でパシフィックコンサルタンツです。

問 地熱理解促進もパシフィックコンサルタンツに委託しています。

問 CCR Cの方向修正についての質問がなされた。

問 100戸を進めていますが、年齢構成等協議した結果で改めて公表します。

問 医療とCCR Cについての質問がなされた。

答 地方創生の流れの中で進めて行きます。

問 CCR C運営主体についての質問がなされた。

答 具体的ではありませんが、ノウハウのある民間企業への委託を考えています。

問 事業採算についての質問がなされた。

答 先駆けの団体がありません、事業者が採算ベースを考えます。

問 CCR C事業の今後の展開についての質問がなされた。

問 病院跡地をそのままにせず、地区、町のために利用していきたいです。

問 交流移住定住促進事業、南伊豆ホテルの契約内容について質問がなされた。

答 27年度、敷金礼金等、約200万円くらいです。

問 リフォーム助成についての質問がなされた。

答 上限額100万円です。

問 リフォームの進捗についての質問がなされた。

答 消防設備は済んでいます。

問 トイレの形状についての質問がなされた。

答 浄化槽です。

問 改修についての質問がなされた。

答 所有者と検討し、地域おこし協力隊と地元の人と進めます。

問 地域おこし協力隊の業務についての質問がなされた。

答 当初は片付けをしていましたが、今は検討会を毎週開催しています。

問 今後の展望についての質問がなされた。

答 昨年200名 今年60名 定員で説明会を開催しました。

問 開設予定、契約期間、修繕内容についての質問がなされた。

答 2年更新、温泉も使えるように修繕は今後進めていきます。

問 これまで全てかかった金額についての質問がなされた。

答 テレビ受信料、電気、保険で十数万円です。

問 地熱事業の国への報告書、下賀茂区からの要望書についての質問がなされた。

答 検討します。

問 書類の有無についての質問がなされた。

答 ありません。

問 ビジターセンターの取り組みについての質問がなされた。

答 2年を用途にスピード感を持って進めます。

問 ふるさと寄付金額に対して1割の広告料についての質問がなされた。

答 ポータルサイトへの手数料です。

問 金額の内訳についての質問がなされた。

答 サイトによって計算方

法が違うので一概には答えられません。

問 ビジターセンター契約についての質問がなされた。

答 精査し検討していきま

問 消火栓地上移設についての質問がなされた。

答 数は把握しています。老朽化したものから替えていきます。

問 地熱事業予算減額と、掘削反対についての質問がなされた。

答 音、振動に対する反対決議書です。

問 決議書の提出者についての質問がなされた。

答 区長他、役員が2名です。

問 温泉組合、旅館組合の同意についての質問がなされた。

答 温泉組合が賛成し、経済産業省も認可しているので補助金が出ています。

問 旅館組合での理解についての質問がなされた。

答 何度も説明をしている、県の審議会でも調整しています。

問 1月27日の審議会の内容についての質問がなされた。

答 内容は確認しています。

問 8月7日地元説明会での発言についての質問がなされた。

答 振動、音等の理解と考えます。

問 掘削候補地についての質問がなされた。

答 場所は検討中です。地元の同意を得られるように進めていきます。

問 バイナリー発電の銀の湯会館設置についての質問

がなされた。

答 設置費は町負担なので断念しました。

問 ブランド創出業務委託料についての質問がなされた。

答 町内の独自レシピ開発で7品目開発し、商品化を進めていきます。

問 低炭素についての質問がなされた。

答 ドラゴンフルーツは民間委託を考えています。

問 低炭素は地方創生の事業か質問がなされた。

答 環境省の事業として進めていきます。

問 今後の展開についての質問がなされた。

答 講習会を行っておりま

問 収入証紙売上についての質問がなされた。

答 広報誌に掲載していき
ます。

問 里山散骨についての質
問がなされた。

答 散骨には規制がありま
せん。

**第3款・民生費
第4款・衛生費
第9款・教育費及び関
連歳入につ
いて**

問 在宅高齢者食事サービ
スについての質問がなされ
た。

答 実人数76人利用、食数
は減、みなとの園の配食で
見守りも兼ねて安心感と食
の確保も図られています。

問 配食は管理栄養士の下
か質問がなされた。

答 その通りです。

問 他の市町の内容につい
ての質問がなされた。

答 西伊豆、下田、東伊豆、
松崎が同じ、民間業者では

町の管理は難しいです。

問 こども園雨漏りについ
ての質問がなされた。

答 風による吹込みはあり
ましたが、雨漏りの報告は
受けていません。

問 こども園の修繕につい
ての質問がなされた。

答 諸々の修繕はありまし
た。

問 町史編さんについての
質問がなされた。

答 調査、執筆活動に町規
定の日当を払っています。
松本印刷で進んでいます。

問 町史編さんで南伊豆町
の生い立ちについての質問
がなされた。

答 地域に根ざした調査を
しています。

問 放課後児童クラブにつ
いての質問がなされた。

答 送迎をしています。

問 南上小学校の雨漏りに
ついての質問がなされた。

答 確認し、今後対応して
いきます。

問 子供医療費助成につい
ての質問がなされた。

答 高校生までは考えてい
ません。

問 敬老祝い金についての
質問がなされた。

答 200万円の削減になりま
した。高齢者のために使い
ます。

問 肺炎球菌ワクチンにつ
いての質問がなされた。

答 国で定められた内容で
進めます。

問 自動回収機の内容につ
いての質問がなされた。

答 町全体で新聞11t、雑
誌11t回収しました。

問 ポイント変更について

の質問がなされた。

答 当初、啓発の意味があ
りました。

問 メディカルの医師充足
状況についての質問がなさ
れた。

答 常勤は11名です。非常
勤で麻酔医もおります。

問 麻酔医の勤務日数につ
いての質問がなされた。

答 週3日と当直で対応し
ます。

問 非常用具についての質
問がなされた。

答 更新時に減ったものと
思われます。

問 南上小学校の動物対策
についての質問がなされた。

答 ワイヤーマッシュ、
ネットで対策し、電気柵も
設置しました。

問 効果についての質問が
なされた。

答 今のところ被害はあり
ません。

**第5款・農林水産業費
第6款・商工費、及び
その関連歳入
について**

問 町営南上プール運営期
間についての質問がなされ
た。

答 大学生ライフセイバー
を頼みました。利用者も少
なかつたです。

問 南伊豆歩道運営協議会
負担金についての質問がな
された。

答 保全事業です。

問 アワビ養殖事業の進捗
状況についての質問がなさ
れた。

答 今年度は行っていませ
ん。

問 駐車場賃借料と今後につ
いての質問がなされた。

答 みなと湯の駐車場借地

料です。値上げによる落ち込み率は低いです。

問 銀の湯会館職員についての質問がなされた。

答 指定管理者に伝えておきます。

問 有害鳥獣についての質問がなされた。

答 イノシシ数は減っていますが、鹿は増えており、南下しています。

問 捕獲、罟設置についての質問がなされた。

答 人とお金をかけての重要な施策です。

問 環境保全型農業直接支援対策事業費補助金についての質問がなされた。

答 有機農業への補助金です。

問 交付団体名についての質問がなされた。

答 伊豆南有機農業協議会

です。

問 海岸保全整備事業についての質問がなされた。

答 細かいクラックはあるが使用には耐えうる状況、石廊崎漁港の鉄骨の橋はさらなる調査が必要です。

問 吉祥体験農園利用者と今後についての質問がなされた。

答 3区画が空いています。維持管理の対策を考えます。

問 維持管理している団体についての質問がなされた。

答 伊豆南有機農業協議会です。

問 公共交通機関等利活用観光活性化事業費補助金、青野川利活用活性化事業補助金についての質問がなされた。

答 バスによるイセエビ号で概ね良好、青野川は流れ星。

問 事業の今後についての質問がなされた。

答 観光バスによる事業、流れ星は検討していきます。

問 林業推進についての質問がなされた。

答 特に協議はありません。

問 水産振興事業についての質問がなされた。

答 アワビ養殖、バラムツ駆除はしている、今後も考えていきます。

問 水産加工業起業についての質問がなされた。

答 難しい問題ですが、その通りです。

問 青野川環境緑化事業委託料についての質問がなされた。

答 河川沿いのツツジの剪定です。

第7款・土木費 第10款・災害復旧費及び関連歳入について

問 河川管理委託料についての質問がなされた。

答 シルバー人材センターで草刈り等、33区に河川愛護の負担金です。

問 一条稲梓線についての質問がなされた。

答 進めていきたい事業です。下田市と話し合ってください。

問 青野八木山線についての質問がなされた。

答 残り600mで、松崎側はほぼ完成しています。

問 緊急経済対策住宅建築等助成事業補助金についての質問がなされた。

答 周知が足りなかったためです。

問 建築業者のメリットについての質問がなされた。

答 町内業者限定のため、景気対策となっていると考えます。

問 住宅リフォーム振興事業補助金についての質問がなされた。

答 良好なので今後も続けていきます。

特別会計

1、議第100号

- ・平成27年度南伊豆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議第101号
- ・平成27年度南伊豆町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議第102号
- ・平成27年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

問 国民健康保険の額についての質問がなされた。

答 調停額は87、473円



で県下31位と低いです。

問 現在と今後についての質問がなされた。

答 平成30年度広域化について協議中です。

問 県、国への働きかけについての質問がなされた。

答 県、市、町が厳しい状況、全体の流れに沿います。

問 健康診断場所統合について質問がなされた。

答 送迎バスで対応していません。

問 人間ドック利用について質問がなされた。

答 広報誌に掲載していません。

問 任意事業についての質問がなされた。

答 成年後見人としての執行がありませんでした。

問 成年後見人の人数につ

いての質問がなされた。

答 50人程度です。

問 介護保険の40代負担についての質問がなされた。

答 今の制度を信じていきます。

2、議第103号

・平成27年度南伊豆町南上財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第104号

・平成27年度南伊豆町南崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第105号

・平成27年度南伊豆町三坂財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第106号

・平成27年度南伊豆町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

質疑無し

3、議第107号

・平成27年度南伊豆町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第108号

・平成27年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第109号

・平成27年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

議第110号

・平成27年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 マンホールの蓋について質問がなされた。

答 役場ロビーに展示してあります。

問 区域外での下水道接続についての質問がなされた。

答 特養、健康福祉センター

はコスト的に接続します。

問 近隣住民加入についての質問がなされた。

答 都市計画区域のこともあり、加入への考えはありません。

問 接続率についての質問がなされた。

答 接続率は50.07%です。

問 下水道加入率についての質問がなされた。

答 全体で51%、湊72%、手石51%、下賀茂20.2%です。

問 維持管理できる割合についての質問がなされた。

答 使用料を1,000万円増やせば維持管理できます。

4、議第111号

・平成27年度南伊豆町水道事業会計決算認定について

問 収支のバランス、適正料金等についての質問がなされた。

答

答 バランスは2,885万円

の損益、料金は料金改定で実際は4,000万円強の増、アウトソーシングは経費がかかりませんが、職員雇用を考えるとその方がいいです。今後、人口減少社会の中で施設規模縮小を考えています。

問 給水原価と供給単価逆転についての質問がなされた。

答 固定費が乗っています。

問 今後、簡易水道の計画についての質問がなされた。

答 29年度老朽管の敷設完了、石綿管の整備完了後古い簡易水道を考えています。



● 一般質問

町長に聞きました



漆田 修 議員

決算と財政運営の適否

質問 この9月議会は決算
議会の為、詳細質問に入る
前、町長の決算認定の意義
に対し其の認識を問う。

町長 第一義的意義はP
CAという管理循環サイク
ルを回転させる事により適
宜な運営となる様、予算策
定全体の止揚を計ることと
思慮する。

質問 決算書添付の4財産

今後の研究課題である。

質問 決算指標の計画性と
弾力性では実質収支比率が
14.6%と突出して悪く経常収
支比率も83.9%と硬直性が高
い。予算の計画性に問題が
あるのでは？

町長 今年度の計画性率が
極端に悪いのは、ふるさと
納税の謝礼還付等の不能額
が予測に比し低かったこと
と推慮され、一方歳入であ
る寄付金の他款項への転用
支出も明確化されなかった
結果である。

増減経過表の必要性は承知
の通りであるが、一般会計
の複式簿記化への移行に対
し、簿価評価問題も含め如
何会計学上認識するか。

町長 自治体の保持する財
産は時点評価としては、補
足し得るが実態が決算支出
済額であって資本的支出内
容の取引等の認識・測定の
把握や同一範中の償却額の
捉え方などに問題があり、

質問 返礼金額が特定され
ているなら支出済額に算入
し繰越明許にすべきだ。当
該比率は支出済額との対比
である為答弁としてなじま
ない。決算統計12項目の個
別精査をすると総務管理費
に問題がある。詳細は決算
委員会で行う。地方財政計
画制度と地方交付税法7条
の収支計画と決算値との比
較は当町は現在していない
との事です。今後マクロ
的な効果検証の為、研究・
検討を願う。



県環境審議会と地熱

質問 7月5日地元下賀茂
区内の説明会があった。試
験掘削への地元合意を目的
になされたもので厳しい意
見・質問が噴出した。1月
27日県環境審議会温泉部会
の意見集約を受け、地元意
見の明確化や合意の為の議
論を経る事により、次の経
産・省への申請となる訳だ
が、3月この件は県知事宛
の最終答申となった。今、
度重なる質疑のなか、町長
答弁のうち県温泉保護対策
要綱改正の必要性は3本埋
没泉の整理をすれば、新た

な掘削が可能となる為改正
の必要はない旨の報告に基
づく発言があったが、議事
録等に依拠すると、改正し
なければ出来ないというの
か又は改正する事によって
自由度を増したいのかの問
いに当町は基本的に要綱の
中で出来る範囲のものであ
る認識を示し、掘削に対す
る近隣からの誤解を生ずる
可能性があるので改正目的
は誤解を解き度いという趣
旨であるとも述べた。委員
は誤解を解く事は要綱改正
でなく住民説明が先ず先に
あって住民が納得する様な
要綱にするというのは筋が
違つとの指摘があり、最終
的に現段階では要綱改正は
必要なく再度当会に諮る事
もあるという意見集約であ
り、町長の言う単純に3本
の埋没泉の確保のみで其の
必要性がないという事では
ない。

古代・中世遺跡の整備

質問 歴史文化資源の活用
や町史編纂の進展を願う。



加畑 毅 議員

町内小中学校の「総合学習」の枠を利用した地元社会人からの進路提案

質問 7月に南伊豆東小学校の6年生を対象にした総合学習の時間があり、ここに4日連続で4人の社会人が6年生の授業を1コマずつ受け持った。森守の黒田社長、ミローの金崎社長、ジャパンギビングの宮本事務局長と私の4人で、それぞれの仕事の内容を紹介しながら、自分の経験談等を語った中で、今後の進路を多面的に生徒と話していくスタイルになった。この企画を教育委員会では結果も踏まえて、どのように聞

ているか。

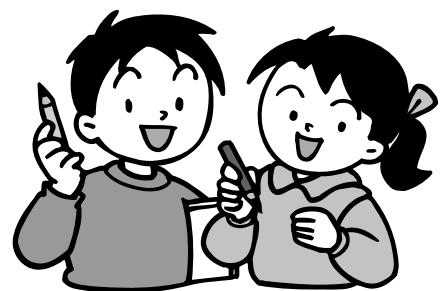
教育長 総合学習は児童生徒が自発的総合的に課題学習を実践する時間です。南伊豆東小学校においては、総合学習の中で地域の方々に協力いただいておりますが、今回は6年生という人生の節目、これに将来の夢や希望をもって物の見方や考え方を広げる機会になり、自分の良さを積極的に見出せる生徒を目指してもらいたいということで、この学習計画を6年生で設定した

ものです。この学校には6年生による自己分析のアンケートがあり、この中で「将来自分がつきたい仕事や夢が余りない」とか「今頑張りたいことがない」とか、あるいは「自分はみんなの役に立てていないのではないか」との結果がありまして、憧れの職業、あるいは自分が役に立っているという有用感が乏しい回答が際立っていたと伺いました。南伊豆東小に限らず、町内の各小学校は現在単一学級であり、小規模校の状況だけに考え方も固定的にならざるを得ない状況下にあると考えます。子どもた

ちが仕事を持った方々の職場の仕事像というのでしょうが、そういうものが見えにくくなってきている環境であり、これを踏まえて地域で活躍する人生の先輩方と、多様な職業観、勤労観、また、未来ある子どもたちへの思いなどを直接語っていただき、子どもたち一人一人の考えを広げたい願いがあります。地域で活躍する4人の方に講師を依頼しての企画になったということです。加畑議員におかれましては、お忙しい中、講師の一人として協力いただき、この場を借りてお礼を申し上げます。この授業では4人の講師それぞれの生き方、チャレンジ精神、その様子を詳細に子どもたちが知ることができまして、ふるさとへの熱い思いをその方々から触れることができ、何事に対しても一生懸命、必死にやるのが大事だと、あるいは新しい考えを行動に移すこと、それからふるさとに役立つことの快さを感じて、自分に合う仕事に出会うために、今やるべきことに全力で立ち向



かおうとする気持ちを高めることができたと、校長先生から直接に報告を受けました。また、平成27年度に策定しました「南伊豆町教育大綱」の基本理念でもある「ふるさとを愛し、心豊かな人を育む」、これとも合致した内容であり、子どもたちも琴線に触れる思いで聴講したものと配慮するところです。



横浜市との交流強化の勧め

※質問し、答弁があった。



岡部克仁 議員

地熱開発事業

質問 地熱開発事業の調査において、説明会の中で地元の同意を得られなかった理由は。

町長 本年7月5日下賀茂公民館において第1回地熱資源調査説明会を開催しました。調査候補地において24時間体制で2ヶ月間を超えるボーリング工事を実施することについての説明となりましたが、音、振動、が不安であるとの意見があり、今後、工事施工者も決めた中で具体的な説明をさせてもらいます。8月4日には役員等40名ほどの説明

会の中で、調査候補地から半径100メートル以内にお住まいの方々を中心に掘削作業を行う音、振動、を不安視するご意見が寄せられました。

質問 南野の山の休止している源泉の3本を1本にまとめて掘ると、議会に報告があったのでは。

町長 静岡県で定める温泉保護対策要綱においては、複数の温泉を埋没整理する場合に新規の源泉掘削が認められており、この複数というのは3本ということでは

す。南野の山には限りません。南野川流域において3本の埋没可能な休止中の源泉を用意し対処しました。

質問 掘削の準備に入った時点で区民、議会への説明が無かったのでは。

町長 平成22年の緑の分権改革推進事業で6年以上、地熱理解促進事業においても2年以上をかけ説明をしているので、説明不足とは認識していません。

質問 土地所有者との契約は。

町長 土地所有者との賃貸契約、ボーリングの軌道が地下を通過するルートの上権を有する方々、温泉協同組合の同意書も8月までに整っています。

質問 今後の掘削の計画は。

町長 掘削予定地の変更も検討し、周辺の方々からの理解と下賀茂区長の同意をいただき、静岡県環境審議会温泉部会による審議を経て、試し掘り調査へ進めていきたいです。

質問 下賀茂区内での掘削調査の可能性は。

町長 当初計画した掘削地点の周辺を含めて検討しています。

質問 当該地区は道が狭く工事車両通行への不安もあるようだが。

町長 工事車両については本瀬側から入るという説明をしたが、十分の理解を得られなかったと思います。

企画課長 時間をかけ説明をして安心していただくという作業が必要とと思っています。

質問 発電所の建設予定地や全体的な事業の流れは。

企画課長 調査のボーリングが新年に入ってから、その後1年間の噴気調査、その段階で他の源泉に影響が出ないかを調べ、そこまで整った時点で初めて発電所建設の民意を問います。

お試し移住事業

質問 ビジターセンターで地域おこし協力隊の役割は。

地方創生室長 移住コンシェルジュという役割で人と経済活性化推進協議会、商工会青年部、お試し移住者、町民も加わり検討に入っています。当町では珍しい民間主導で話が進んでいます。今後、大きな活動に発展していくことを期待します。





清水 清一 議員

観光産業の活性化

質問 観光資源、観光業をどう発展させていくのか。

町長 シーカヤックやジオツアー、みちくさウルトラマラソンやサイクルイベント等も開催。本町で体験、当地に行かなければ楽しめない独自性のあるオンラインワンの観光資源開発を推進してまいりたい。

質問 石廊崎をどういうふうにしていくのか。

町長 昨年8月に基本計画、平成29年度には既存施設の解体、進入路の延長及び駐

車場整備などにも着手したい。町民の税金をつぎ込まない管理形態ができれば。

質問 新たに施設の名称を考えていくのか。

企画課長 公募によって半島の最先端の町有地の名前を決めたい。

質問 どういう公園ができるという説明が必要。

企画課長 8月に基本設計が完了、平面図等を添付する形で、駐車場と広場とトイレと休憩所ぐらい。

質問 湯けむりの町としての温泉活用の考えは。

町長 近年、湯量の低下やスケール堆積に伴う施設管理、維持保全の経費捻出に苦慮し、温泉地の存続が危機的状況にある。宿泊施設事業者等において、それぞれ趣向を凝らした誘客戦略をもって挑んでおられる。関係諸団体と連携強化し、地熱資源の利活用と合わせ、取り組んでまいりたい。

質問 湯けむりの下賀茂の景観はどこにもない景色だと思ふ。下賀茂温泉をどう活性化していくのか。

町長 夜桜マラソンやイベント関係をやっている。ただ湯治場として温泉街を売り出すのは、非常に難しい状況、苦慮している。

質問 今回行政報告には、地熱の関係が載っていない。

町長 特別今のところ変化がなかった。

質問 地熱開発の地区説明

会が下賀茂であった。その説明等は誰が行ったのか。

企画課長 町で基本的な説明をし、技術的な部分は共同企業体にしていただいた。

質問 説明会の中で質疑、応答等の内容は。

企画課長 基本的に音や振動の心配が大半で、地熱自体が反対だという地域住民の方は、ほぼなかった。

地域産業の活性化

質問 地場産業、地元産業が発展しない限りは、町は発展していかない。

町長 県、関係機関と連携し企業誘致の推進を図る。地域経済の活性化と雇用の確保に取り組みたい。

質問 中小企業の育成、人材育成、後継者育成は。

町長 商工会で、平成27年から経営発達支援事業計画

5カ年計画を策定し、国から認定。光ファイバー整備が進み、今後ICTを活用した新たな起業家の誕生を期待する。県の若年技能者人材育成支援事業、町も商工会等と連携を図りたい。

質問 農林水産業の育成は。農業は景観産業みたいなもので休耕地が多くなると、その地区は荒れてくる。

町長 農業振興会や直売所湯の花への出店など、地産地消が確立されつつある。水産業は、アワビ、マダイ等の放流事業を継続、地元産として付加価値の高い商品が確立されつつある。





横嶋隆二 議員

地方創生総合戦略

質問 基本目標1の周産期小児期ケア、病児保育について具体的展望は。

課長 病児・病後児保育は保育士の確保が厳しく手が回らない。国は人件費負担を上げており検討はする。

質問 基本目標2の高校や教育・研究機関等との連携をどう展望しているか。

町長 下田高校南伊豆分校で食品加工に注力しており地元食材を活用した飲食業等への展開など期待する。この視点で小中学生への食

育施策を推進し、若者定着への環境を整備したい。

質問 平成25年度に食品製造コースが設立され、今年第1回の卒業生が卒業した。起業等新しい展望を開く、きっかけではないか。

町長 食品製造コースができたのは初耳だ。町を挙げて分校をもっと盛り上げる。

質問 新しい産業と雇用の場とはどんな展望か。

町長 地熱資源・再生可能エネルギーを活用した産業

振興や企業誘致等による雇用の創出。町内での起業者には、創業支援を展開する。

質問 大それた企業誘致ではなく、林業事業体と大工職人で南伊豆町の山を活用した木造住宅建築を育てていくことで、職人の技術伝承、資源持続可能な産業の再構築が必要だ。

町長 果たしてこの町でそういう人たちがいるのか問題。

質問 宝のある方々はいっぱいいる。ここに光を当てることを、頭に置くべき。

質問 CCRRC構想100戸のサ高住の推移、用地取得での地方自治法抵触は。

地方創生室長 協議会の中で、1,000人の湊地区に100戸の高齢者を招くことに疑問が出て、戸数を60戸以下にする方向。多世代・地元との交流拠点の役割をメインに据えた事業展開の内容だ。旧病院施設解体を南伊豆町でなく一部事務組合で

行う方向で検討。なぎさ園の底地は、購入しない方向。



質問 台湾教育旅行誘致の観点。南伊豆町のアピール点は。一人当たり視察費用は。

町長 風光明媚、石廊崎の感動、南伊豆分校の特色で新しい形ができてくる。

観光推進係長 165,000円。

質問 私はこの誘客に行かないが、もっと南伊豆町に誇りを持ちたい。台湾とは、縄文時代からの稲作文化の交流があり、南伊豆町はコシヒカリのルーツ、愛国米のルーツ、身上早稲とその親、身上起の起源の地。日

詰遺跡出土に見る鉄器文化の歴史。これが南伊豆町のアイデンティティではないか。

地熱発電事業の課題と問題

質問 本年1月27日の静岡県環境審議会温泉部会で公益財団法人中央温泉研究所の所長は、地熱を対象にした例は、全国で他に無いとした。地元の十分な合意形成も問題と指摘された。そもそも、この同事業の利害関係のなかで、温泉協同組合は単年度のみ、下賀茂温泉旅館協同組合は合意されていない。

町長 温泉協同組合の同意は、新たにもらっている。調査井を掘って、20度の地熱事業ができるかどうかの調査をする同意だ。

旅館協同組合というのは、たかだか5軒だ。そして、源泉を所有しているのは2軒。そういう中での反対だ。何を懸念されているのかよくわからない。



渡邊 哲 議員

石廊崎風力発電所

質問 2010年4月営業運転を開始。当時は環境破壊であるとか、人体に影響があるとか取り沙汰されたが、現状においてどう考えるか。

町長 耐用年数17年ということで総額8億円の税収が入るが交付税等で償却される年間2,000万円程度の税収だ。耐用年数がくる2027年以降はジェイウインドとの協議となる。会社側との話し合いの中で会計諸帳簿の提示を求めているが示されない。当町の財産である風を使っていなから当

町にとって非常に貢献度の低い会社である。町民からの苦情等は最近出ていない。今後共、貢献度を高めて頂けるよう努力する。

下水道事業

質問 当時この事業は将来町財政を圧迫する事業であるという噂のなかで始まったと認識しているが、今後どう維持していくのか。

町長 事業完成は31年度です。現在整備率は95%であ

ります。財源は50%が国の交付金、50%が町債で賄っておりますが国の予算措置の状況により事業量の変動を余儀なくされている状況である。現状における起債残高は13億4,663円であるが残高は減少傾向である。しかしながら27年度実績において1億4,000万円を一般会計から補填しており、財政圧迫の要因とはなっておりません。開始から15年経過しているので今後発生する維持管理費用等への対応が喫緊の課題となっているので更なる加入促進に努めます。

温泉の利活用

質問 下賀茂地区が調査井の掘削に同意が得られないと聞いているが、温泉の利活用については単に温泉保有地区だけの問題ではなく当町全体の問題とした捉え方をしてほしいと考えるが。

町長 下賀茂区の同意がなされないというのは調査井

の掘削に反対ではなく工事に係わる諸問題で場所の選定に危惧しているということとです。私も担当課長も下賀茂温泉で育った人間であり、下賀茂地区が不利益になるような事業をするわけはありません。今後共区民の皆様と膝を交えてじっくりと話し合いをしていく。



下田メディカルセンター

質問 下田市長が変わり管理者が変わりました。町民としては開口一番メディカルをもっと充実させようではないか、という話をしたいのですが。

町長 1市5町の中心はや

はり下田市長であり一部事務組合の管理者は下田市長である。そういった中で前市長にも何度もその話はしましたがなかなか我々の思うようにいかない。福井市長とは高校の同級生でもあり、市長の弟君は聖路加病院の院長でもある、その方面の情報も聞きながらお互い協力してより充実を図る。

質問 当町は今、諸事業をたちあげようとしている中で、医療の事は重要な問題であり事業に影響せざる事となりかねない。

町長 ※答弁があった。



未来を担う子ども達

様々な関わりの中で育つ南上の子

～南上小のキャラクターづくり～

南上小学校は全校児童48人の小規模校ですが、その特長を最大限に生かした教育に取り組んでいます。保護者・地域と連携して多様な関わり合いの場をつくり、豊かな体験活動を通じた心の育成にも力を入れています。

本校のPTA活動の一つである「家庭教育学級」では、毎年、学級長さんが中心になって子どもも保護者も一緒に楽しめる活動を企画しています。今年、「パンダ銭湯」で有名な絵本作家の「tupera tupera (ツペラ ツペラ)」こと亀山達矢先生をお迎えして絵本ライブと南上小のキャラクター「へんてこ神ちゃまづくり」を行いました。亀山先生の楽しい絵本ライブの後、キーワードを基に南上小のキャラクターづくりをしました。子どもも大人も夢中で作り、できあがった作品を見せ合いみんなで楽しみました。自分の思いを素直に表現でき、みんな満足そうな笑顔でした。

前日準備も当日も保護者・地域の方々が大勢集まってくださり、様々な方々と関わり合って表現活動を楽しみ、一体感を味わう南上ならではのひとときでした。

南伊豆町立南上小学校
高橋美智子



南上小キャラクター「へんてこ神ちゃま」づくり

みなみいず元気びと



青市 お茶の間サロン

各地で居場所作りの一環として高齢者サロンが開かれています。青市地区でも、皆様が気軽に集まって介護予防等につながる様なゲームや体操、おしゃべり、季節の行事等を楽しみながらボランティアと共に楽しい一時を過ごしています。8月は、流しそうめんをみんなで楽しみました。

代表：杉野みつえ

お問い合わせ：南伊豆町社会福祉協議会
TEL 62-3156

議会一〇メモ

議員定数と変更

議員の定数は、議会ごと
に条例で定められている。
従来、人口規模に応じて地
方自治法に、法定数が規定
されていたが、分権改革の
一環として、地方議員の組
織に関する自己決定権を尊
重する観点から、この法定
定数制度が改められた。し
かし多様な民意を反映する
ためには、一定の議員数が
不可欠である事には変わり
なく、今後も地域の特性な

どに十分配慮しつつ、慎重
に対応していく事が必要で
ある。議員定数の変更は、
議会制民主主義と民意の反
映の上から特に慎重を期す
るべきものであり、変更し
なければならぬ場合は、
議員提案によるべきである。
この場合、条例を制定すれ
ば、いつからでも増減でき
るというものではない。議
員の定数は議会構成の最も
基本的な事項であることか
ら、任期中はこれを変更し
ない事としている為、必ず
次の一般選挙でなければ出
来ないものとされている。
「議員必携より」

(比野下)



夏が終わり、秋の運動会
シーズンを終えると、南伊
豆町は一気に祭りムードに
なる。各地区での祭典を見
たいが、同じ日に開催する
ので見る事が出来ない。
そのせいか唯一、9月に行
われた小稲地区には町内外
から沢山のお客さんが訪れ
る。今年の虎舞も圧巻。下
賀茂の籠獅子、子浦の三番
叟、加納、三島神社の4地
区太鼓の叩き合い。他も見
どころは沢山あるが、伝統
文化を継承する若者たちが
減っているため、今後の開
催に危機感を覚える。また、
食事等の支度も人手不足の
状況だ。参加する子供も、
観客も少ない。町外に出た
若者が故郷の祭りに帰って
来てくれたらと切に願う。
是非、各地区総出で地元
の祭りを盛り上げ、守ってほ
しい。

(岡)